

ベスト8・まちづくり委員長特別賞

温故知新なまち創り ～明鏡止水な屋敷～

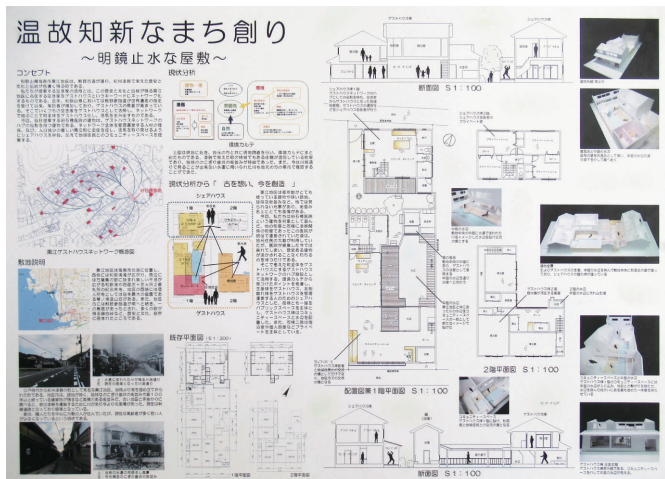
和歌山 | 和歌山県立和歌山工業高等学校 選手…2年生6名[男子3名、女子3名]



まちづくりは、そのまちの課題解決や活性化を目標に、その地域に棲む住民が主体となって、長い時間をかけたプロセスにあると言っても過言でないと思う。この作品は、そのまちづくりとして解決しようという案だと言える。街なかに点在する大量の空き家を、ハブ施設によってコントロールさせていこうというものである。その個々の空き家活用が、街ぐるみの回遊と活性化を生むことになるだろう。今回の応募作品の提案の中で、この作品ほど、明瞭にそのコンセプトが伝わってきたものはなかった。とても「まちづくり」的解決策と言える。

残念だったのは、言葉(コンセプト)では書いてあることが、図面でうまく表現されていなかったことである。具体的に言うと、一見、ハブ施設はどこだろうと思った。文字を読むと、北側離れ棟がその場所なのだとわかるが、肝心の管理運営するためのスペース、つまり事務機能などを処理するスペースが見当たらない。これでは単なる宿泊施設でしかない。こういった点を改善すれば、なおよかった。でも、空き家を連担させる「まちづくり」の考え方、発想はすばらしく、考えもよい。模型もよかった。

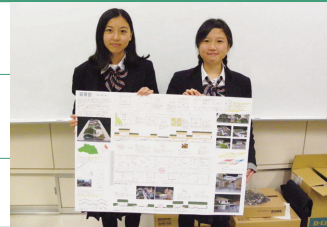
ベスト8、まちづくり委員長特別賞、おめでとうございます。(森崎)



ベスト8・女性委員長特別賞

笑展街 ～子育て城下町～

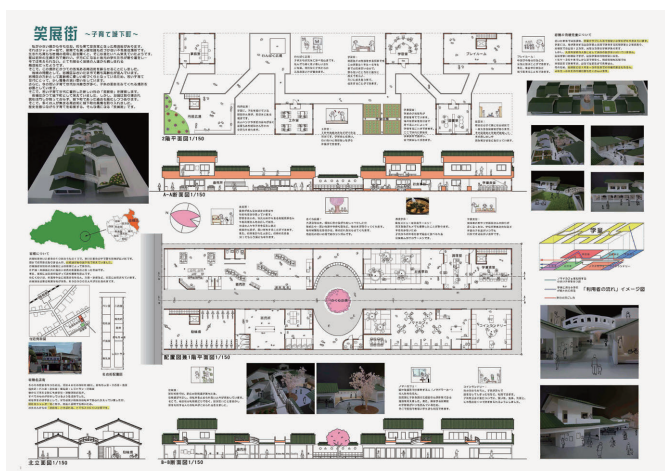
埼玉 | 埼玉県立春日部工業高等学校 選手…3年生2名(女子2名)



今日、どこの街にも見られるようになったシャッター街。それを甦らせる工夫は、さまざまな地域で試みられているところである。この提案もまさしく、魅力ある商店街をめざして、創造的な提案を試みている。作品の題を「笑展街」としているところから、人々の笑いあふれる空間となることをめざしている意気込みを感じる。子どもたちが安心して集まれる場所で学び、遊べる空間の提案は、待機児童問題の解消にもつながる。

対象地区の岩槻区は、さいたま市の10区の中の1つで、岩槻城の城下町として栄えた歴史ある町並みである。城は取り壊されたものの、桜の名所として城址は残っている。その歴史ある風情を商店街の計画に取り入れたことは評価すべき点である。橋の形が歴史を感じ、建物全体も城下町としての風情を醸し出している。内部には子どもたちのための空間をさまざまな形で作り出している。ともにつくる学童菜園も発想として面白い。食育の必要性を改めて思い出させていただいた。これからの子どもたちへのメッセージとして夢のある提案があふれている。

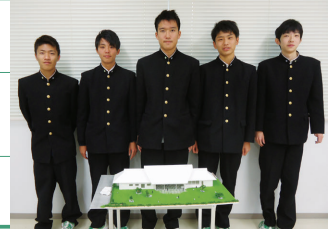
このアイデアが実際に実現し、シャッター街が以前のような活気あふれる笑展街となることを願うばかりである。(小野)



ベスト8

～世代をつなぐ、地域をつなぐ～

山形 | 山形県立山形工業高等学校 選手…2年生5名[男子5名]

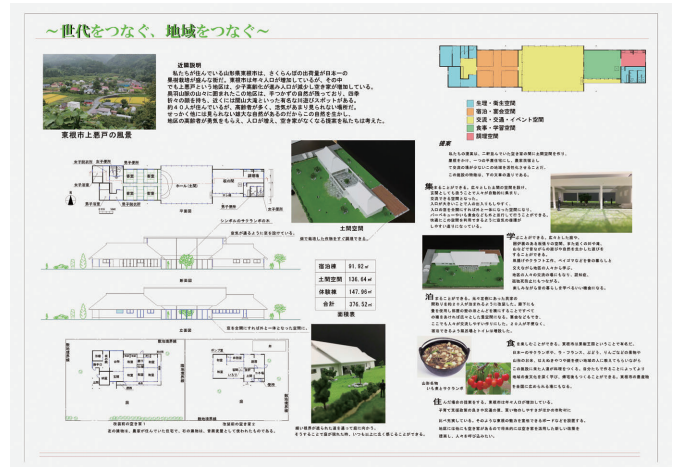


偶然隣り合わせた「空き家」2軒が「空き家」が隣接した時に使える手法とも言える解決策である。ベスト8になったこの作品は、地域としての「山形らしさ」(地域郷土、民家、田舎)をよく理解し、高齢者に希望を与えたいというコンセプトになっている。

タイトルの「地域をつなぐ」というのは、地産の食材や宿泊、学習、交流の場で理解はできるのだが、「世代をつなぐ」というところが見えない。高齢者と異世代の交流の仕掛けなどの仕組みの提案も欲しかったと思う。少し、舌足らずのところがあったように思う。

平面プランのみならず、全般にシンプルで面白いのだが、説明をもう少し付け加えてもらえると理解できたかもしれない。コンセプトが、少し単調になったようだ。プレゼンボードの余白部分を活用できたのではと思う。たとえば、なぜ、せっかつないだ2棟のそれぞれに便所が設けられているのかなどである。しかし、いろいろ応用できる「2つの古民家をつなぐという発想」は、素晴らしいと思う。

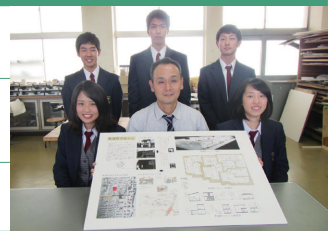
写真、デザイン、そして表現力も上手にできたと思います。(森崎)



ベスト8

奉還町マルシェ

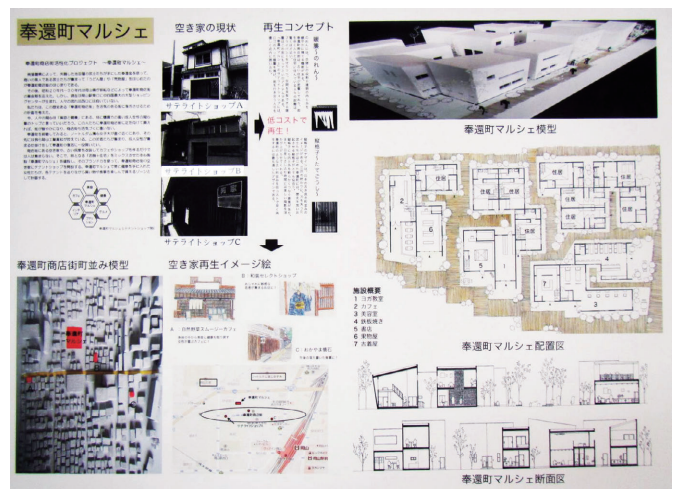
岡山 | 岡山県立岡山工業高等学校 選手…3年生5名[男子3名、女子2名]



かつて失職した武士たちが素人商人として始めた奉還町商店街に、新たに目玉となる商業施設と住宅を合わせた複合施設「奉還町マルシェ」を投入することで、商店街の周囲の空き家にも活性化のチャンスが訪れるのではという提案である。

空き家の再生のデザインコンセプトは、「暖簾」と「縦格子」である。空き家はサテライトショップとして自然食品を素材にしたスムージーや懐石料理を提供し、和装のセレクトショップも計画されている。新たに建設される「奉還町マルシェ」は、ヨガ教室、美容室といった美容と健康をテーマとした商業施設が中心となり、間違いなく集客力のある施設になると作者は確信しているようだ。

よほど恵まれなかがり、町の名所として人の集まる場所になることは難しい。建設当初は話題となり多くの人々が集まるが、ブームが過ぎれば廃れてしまう例が多々ある。にぎわいを取り戻すには、ずいぶんと忍耐と時間がかかる。しかしながら、自分の住む町をよく知り、周囲の環境も含め他との違いを理解することが、将来、地域の特性にあったまちづくりを可能にする鍵となると信じています。(廣瀬)



ベスト8

東新町で okemon GO

徳島 | 徳島県立徳島科学技術高等学校 選手…3年生3名[男子2名、女子1名]



音楽をテーマとした活用方法については、提案内容を見てワクワクするものがあつた。音楽が流れてくるような提案の仕方は素晴らしい。東新町の現状をよく理解し、現存するウォークボードを活用する提案もよい。

提案の中で大変気になるのが、空き家の2階部分を変形させ、立体的な新しい空間をつくり出すイメージは、実際に設計業務を行っている者として、(構造計画は別として)参考になる計画案だと感じる。空き家の計画の中で、平面的な空間の変更などよく提案される。実際は、その場に建築物があり、立体物として存在し、その立体による不利益(路地が狭く光が差し込まない、薄暗く防犯上よろしくない等)があるからこそ空き家が発生するのでは? という部分への着目は素晴らしいと感じた。

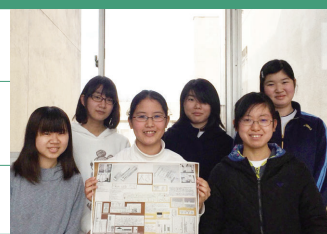
町の一角をアミューズメント化させ、地域の活性化を図る際には、次への発展、たとえば外部からの集客に対する街としての対応。宿泊や飲食の充実。また、イベントとしてフェス開催を行うだけでなく、常に音楽があふれる場所として、地域の方も一緒に、当たり前のように音楽を楽しむことができる術をもう少し取り込んでもらえると、さらに面白い街の発展がみられると感じた。(安田)



青年委員長特別賞

ほんや

岐阜 | 岐阜工業高等専門学校 選手…3年生6名[女子6名]



昔からある地域の遺産、その遺産にまつわる昔話を次世代に伝える。老若男女すべてが触れやすい「本」と「物語」を通じ、空き家の活用を促す素晴らしい提案と感じる。また、商店街に集まる学生へのアプローチも計画に取り入れ、地域の子どもたちが遊ぶ空間と、地域の住民、学生を紡ぐ案として、実際に活用できる計画だと感じる。

気になる点として、地域内に存在する2拠点を活用するにあたり、お互いの距離がある部分をどのように街の活性化につなげるか? がポイントとなるかと思う。

世代間を超えた空間の利用。「本」「物語」という共通点を見出した中で、2つの拠点をうまくつなぎ商店街を再度活性化させるところまで計画が発展すると、単体の空き家活用でなく「街の活性化」につながると感じる。さらに、現存する商店街内の「書店」との関連性。特に学生に対し、業務として営業される書店と今回の計画内容との関連性を明確に行い、より具体的な「発展」を計画されてみるのも一つと感じた。

空き家と街を連動させ、つながりを持たせることによる全体的な活性化を今一度検討してもらいたい。(安田)

